



Spatial Timer

相手の気配を感じる
未来のタイマー

背景

学習時間や学習量を記録するアプリが広く使われている。同じ目標を持つ仲間と学習時間や学習量といった「結果」を共有することで、モチベーションに繋げる人もいる。一方で、他人の学習時間や学習量を見ることは、自分と他人とを比較することに繋がり、焦りを生じさせる場合がある。

学習を継続するにあたり、仲間の存在は大きい。仲間と一緒に時を過ごすことが難しくなった With コロナ時代、私たちは、どのようにその存在を感じることができるのだろうか。

頑張っている仲間の気配という「過程」を共有することで、もうちょっとだけ頑張ろうかな、と思えるもの、またその気持ちを保持できるようなものはないだろうか。

Spatial Timer 概要

センサーが人を検知し、ほのかな光でその存在を伝えてくれる機能を持つポモドーロタイマー

仲間が机に向かっている状態を光で表現することで、相手の学習を中断することなく、学習中に感じる孤独感を和らげることができる



現状の課題

同じ目標を持つ仲間と一緒に頑張ろうと思っても、頑張っている瞬間がわからない



やる気モードのみゆきさん



やる気なしモードのメイサさん

Spatial Timer による効果

Spatial Timer が仲間の状態を光で表現することで、相手の邪魔をすることなく、学習中に感じる孤独感を緩和することができる



Spatial Timer を使用して
ポモドーロテクニックを学習に活用
Spatial Timer を机の上に置いておくと、
内蔵されたセンサーが
机に向かっているみゆきさんを感知

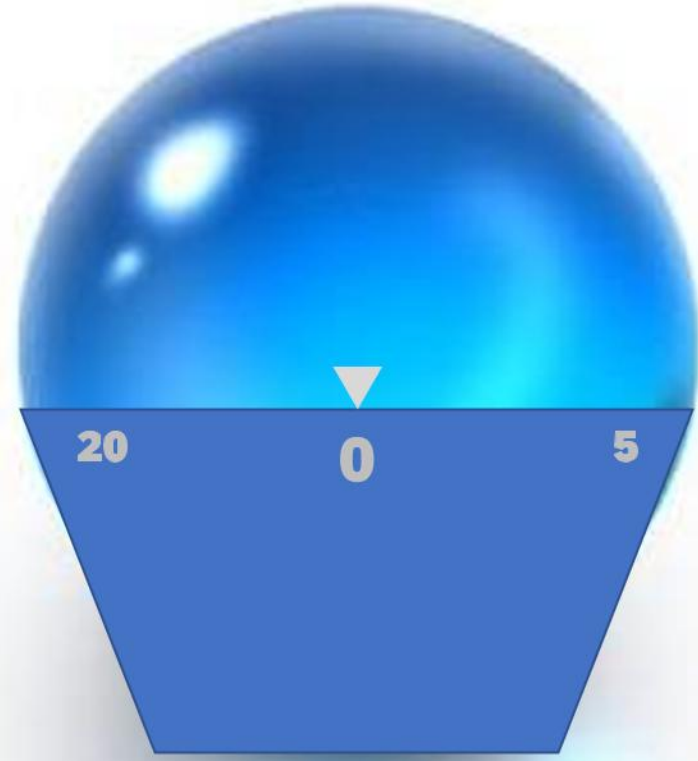


勉強仲間として登録された
みゆきさんの状態を
メイサさんの机の上にある
Spatial Timer が
光でお知らせ

製品イメージ



平常時
(ポモドーロタイマー
として利用)



反応時
(ポモドーロタイマー
+ 仲間の気配を光で表現)

機能詳細



- 25分、5分の計測が可能
- センサーにより、人の気配を検知
- あらかじめ指定した Spatial Timer に対して、検知した気配を送信
- 他デバイスから気配を受信した Spatial Timer は、光を放出
- 電源の ON/OFF により、送信側のセンシングおよび受信側の光源を制御可能
- 送受信するデバイスは、双方で個別指定が可能
- 送受信するデバイスは、複数指定が可能
- 光の色と強さは、受信側デバイスで調整が可能
- USB 充電式により電源を確保 (ポモドーロタイマーをして使用する場合は電源不要)